

7節 耐候性塗料塗り (DP)

18.7.1
適用範囲

この節は、屋外の鉄鋼面、亜鉛めっき鋼面、コンクリート面等の耐候性塗料塗りに適用する。

18.7.2
鉄鋼面耐候性
塗料塗り

(a) 鉄鋼面耐候性塗料塗りは、表18.7.1による。なお、製作工場で溶接した箇所の下塗りは、(b)(2)による。

表18.7.1 鉄鋼面耐候性塗料塗り

工 程	塗 料 そ の 他			S K K 該当製品	* 塗付け量 (kg/m ²)
	規格番号	規 格 名 称	種類又は等級		
素地ごしらえ	表18.2.2によるB種			————	——
1 下塗り (1回目)	JIS K 5552	ジンクリッチ プライマー	2種	SK#8000プライマー★	0.14
2 下塗り (2回目)	JIS K 5551	構造物用 耐候性塗料	A種	ミラクボーセイM★	0.14
3 下塗り (3回目)	JIS K 5551	構造物用 耐候性塗料	A種	ミラクボーセイM★	0.14
4 研磨紙ざり	研磨紙P120～220			————	——
5 中塗り	JIS K 5659	鋼構造物用 耐候性塗料	中塗り塗料	クリーンマイルド中塗材ST	0.14
6 上塗り	JIS K 5659	鋼構造物用 耐候性塗料	上塗り塗料 等級は特記による。	クリーンマイルドフッソST ^(注)	0.10

(注) 1. 1級：クリーンマイルドフッソST, 2級：クリーンマイルドシリコンST, 3級：クリーンマイルドウレタンSTの等級の製品があります。仕様について詳しくは、最寄りの営業所にお問い合わせください。

2. 工程6まで製作工場で行う場合は、工程4は省略できる。

3. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。

*「塗付け量」とは、被塗面単位面積当たりの塗装材料の「塗着重量」、即ち、基材の上に「実際に塗着している塗装材料の重量」のことであり、「塗装材料のロス」を含む被塗面単位面積当たりの「塗装材料の使用重量」である「所要量」とは意味合いが異なります。通常「所要量」>「塗付け量」となりますのでご注意ください。

(b) 鉄骨等鉄鋼面の下塗りは、次による。

- (1) 下塗りは、製作工場において組立後に行う。ただし、組立後塗装困難となる部分は、組立前の下塗りを行う。
- (2) 製作工場で溶接した箇所は、ディスクサンダー又は研磨紙P120程度で金属素地面が現れるまで錆等を除去し、構造物用さび止めペイント (A種) を3回塗る。

(3) 現場組立後、現場溶接部及び組立中の下塗り損傷部分は、ディスクサンダー又は研磨紙P120程度で金属素地面が現れるまで錆等を除去し、変性エポキシ樹脂プライマー（変性エポキシ樹脂プライマー及び弱溶剤系変性エポキシ樹脂プライマー）(表18.3.2のB種)を3回塗る。

18.7.3
亜鉛めっき
鋼面耐候性
塗料塗り

亜鉛めっき鋼面耐候性塗料塗りは、表18.7.2による。

表18.7.2 亜鉛めっき鋼面耐候性塗料塗り

工 程	塗 料 そ の 他			S K K 該 当 製 品	* 塗 付 け 量 (kg/m ²)
	規格番号	規 格 名 称	種 類 又 は 等 級		
素地ごしらえ	表18.2.3によるA種			————	—
1 下 塗 り	JASS 18 M-109	変性エポキシ樹脂プライマー（変性エポキシ樹脂プライマー及び弱溶剤系変性エポキシ樹脂プライマー）	—	SKマイルドボーセイ★	0.14
2 研磨紙ざり	研磨紙P120～220			————	—
3 中 塗 り	JIS K 5659	鋼構造物用耐候性塗料	中塗り塗料	クリーンマイルド中塗材ST	0.14
4 上 塗 り	JIS K 5659	鋼構造物用耐候性塗料	上塗り塗料 等級は特記による。	クリーンマイルドフツツST ^(注)	0.10

- (注) 1. 1級：クリーンマイルドフツツST, 2級：クリーンマイルドシリコンST, 3級：クリーンマイルドウレタンSTの等級の製品があります。仕様について詳しくは、最寄りの営業所にお問い合わせください。
 2. 工程4まで製作工場で行う場合は、工程2は省略する。
 3. 鋼製建具等の下塗りの工法は、18.3.3(e)による。
 4. JASS 18 M-109は、日本建築学会材料規格である。
 5. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。

*「塗付け量」とは、被塗面単位面積当たりの塗装材料の「塗着重量」、即ち、基材の上に「実際に塗着している塗装材料の重量」のことであり、「塗装材料のロス」を含む被塗面単位面積当たりの「塗装材料の使用重量」である「所要量」とは意味合いが異なります。通常「所要量」>「塗付け量」となりますのでご注意ください。

18.7.4
コンクリート面
及び押出成形
セメント板面
耐候性塗料塗り

コンクリート面及び押出成形セメント板面耐候性塗料塗りは、表18.7.3により、種別は特記による。

表18.7.3 コンクリート面及び押出成形セメント板面耐候性塗料塗り

工 程	種 別			塗 料 そ の 他			S K K 該 当 製 品	* 塗 付 け 量 (kg/m ²)
	A 種	B 種	C 種	規格番号	規 格 名 称	種 類		
素地ごしらえ	○(注)1			表18.2.6によるA種			——	——
1 下 塗 り	○	○	○	JASS 18 M-201	反応形合成樹脂 シーラー及び弱溶 剤系反応形合成樹 脂シーラー	——	マイルドシーラー-EPO★	0.08
2 中 塗 り	○	—	—	JASS 18 M-405	常温乾燥形ふっ素 樹脂塗料用中塗り (常温乾燥形ふっ 素樹脂塗料用中塗 り及び弱溶剤系常 温乾燥形ふっ素樹 脂塗料用中塗り)	——	クリーンマイルドフッ素中塗材	0.14
	—	○	—	JASS 18 M-404	アクリルシリコン 樹脂塗料用中塗り (アクリルシリコ ン樹脂塗料用中塗 り及び弱溶剤系ア クリルシリコン樹 脂塗料用中塗り)	——	クリーンマイルドシリコン★	0.14
	—	—	○	JASS 18 M-403	2液形ポリウレタ ンエナメル用中塗 り(2液形ポリウ レタンエナメル用 中塗り及び弱溶剤 系2液形ポリウレ タンエナメル用中 塗り)	——	クリーンマイルドウレタン★	0.14
3 上 塗 り	○	—	—	JIS K 5658	建築用 耐候性上塗り塗料	主要塗料 ふっ素樹脂 (1級)	クリーンマイルドフッ素★	0.10
	—	○	—			主要塗料 シリコン樹脂 (2級)	クリーンマイルドシリコン★	0.10
	—	—	○			主要塗料 ポリウレタン樹脂 (3級)	クリーンマイルドウレタン★	0.10

(注) 1. 素地ごしらえの種別は、塗料その他の欄による。

2. JASS 18 M-201, M-403, M-404及びM-405は、日本建築学会材料規格である。

3. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。

*「塗付け量」とは、被塗面単位面積当たりの塗装材料の「塗着重量」、即ち、基材の上に「実際に塗着している塗装材料の重量」のことであり、「塗装材料のロス」を含む被塗面単位面積当たりの「塗装材料の使用重量」である「所要量」とは意味合いが異なります。通常「所要量」>「塗付け量」となりますのでご注意ください。